令和７年度

事　業　報　告　書

自　令和　７年　４月　１日
至　令和　８年　３月３１日

社会福祉法人　慈　正　会

特別養護老人ホーム　楽洋の里

指定介護老人福祉施設

ショートステイ楽洋

指定（介護予防）短期入所生活介護

楽洋デイサービスセンター

指定（介護予防）通所介護

ケアプランサービス楽洋３６５

指定居宅介護支援

～ 目　　次 ～

社会福祉法人 慈正会
１．基本方針 …… 1
２．重点施策 …… 1
特別養護老人ホーム 楽洋の里
１．基本方針 …… 4
２．目標 …… 4
３．運営に当たっての重点項目 …… 4
４．事業数値目標 …… 4
５．環境美化及び設備整備 …… 5
６．防災計画 …… 5
７．職員の福利厚生 …… 5
８．職員の研修 …… 5
９．各委員会の充実 …… 5
10．施設外（オンライン）会議研修の参加状況 …… 8
11．施設入所者の利用者状況 …… 8
12．年齢別・性別の状況 …… 9
13．在所期間の状況 …… 9
14．要介護度の状況 …… 9
15．待機者の状況 …… 9
ショートステイ楽洋
１．基本方針 …… 10
２．目標 …… 10
３．運営に当たっての重点項目 …… 10
４．事業数値目標 …… 10
５．短期入所者の利用状況 …… 11
楽洋デイサービスセンター
１．基本方針 …… 12
２．目標 …… 12
３．運営に当たっての重点項目 …… 12
４．事業数値目標 …… 13
５．部署会議の状況 …… 13
６．年間行事 …… 13
７．戸外活動・クラブ活動・少人数レクレーション …… 13
６．利用回数の状況 …… 14
ケアプランサービス楽洋３６５
１．基本方針 …… 15
２．目標 …… 15
３．運営に当たっての重点項目 …… 15
４．事業数値目標 …… 15
５．利用者数の状況 …… 16

令和７年度　社会福祉法人　慈正会　事業報告

１．基本方針

今日の社会福祉法人を取り巻く経営環境は、長引く物価高騰による経費増大に加え、最低賃金の上昇、労働力不足による人材確保の難しさ、更には利用者の減少がみられる等、社会福祉法人を取り巻く経営環境は厳しさを増している。安定・継続的な事業経営を現実するため、多角化・多機能化等の事業展開と経営基盤の強化に加え、ICT 化等も含めた業務効率化によるサービスの質の向上が求められている。

このような情勢の中、これまで『当たり前だったことを当たり前のように』続けるだけでは、法人経営が困難とする時代となっている。当法人が将来にわたって地域の発展に貢献し、その価値の提供において「共に考え、行動し、創る」ことのできる法人になることは時代の要請であり、それは自らの経営の透明性を図り、自立経営への構造改革が重要です。変わりゆく社会に対応し、新たな成長を創造するには、これからの時代を見据えた持続経営に努めた。

２．重点施策

○　本年度は、社会福祉法人制度改革の趣旨を踏まえ、法人運営の健全性と透明性の向上に取り組んだ。具体的には、理事会・評議員会の機能強化、内部統制の整備を進め、ガバナンスの強化を図った。また、財務情報の適切な管理と公開に努め、財務規律の確保と事業運営の透明性向上に取り組んだ。

○　法人の持続的な成長を見据え、多様な人材の確保と育成に取り組んだ。職員研修の充実、働きやすい職場環境づくりを進めるとともに、AI・ICT の活用による業務効率化を推進し、働き方改革を進めた。

○　自然災害や感染症発生時における事業継続を確保するため、事業継続計画（BCP）に基づく訓練および研修を年１回実施した。訓練の結果を踏まえ、BCP の内容について検証と見直しを行い、計画の実効性向上に努めた。

３．事業内容

（１）理事会の開催状況

回数	決議日・開催日	同意・確認（人）		内　　容
		理事	監事	
第１回	令和7年 5月27日	６人	２人	決議事項 第１号議案　令和６年度 事業報告及び決算の承認について 第２号議案　定時評議員会の招集について 第３号議案　次期役員候補者の選任について 報告事項 第１号報告　令和６年度　経営分析参考指標（収支状況）について
第２回	令和7年 6月17日	６人	２人	決議事項 第１号議案　理事長の選定の件

第３回	令和７年 ８月22日	６人	２人	決議事項 第１号議案　就業規則の一部改定（案）について 第２号議案　運営規程の一部改定（案）について 第３号議案　地域密着型通所介護事業所への移行について
第４回	令和７年12月22日	６人	２人	報告事項 第１号報告　令和７年度 仮決算報告について
第５回	令和８年 ３月30日	６人	２人	決議事項 第１号議案　令和８年度 事業計画書（案）について 第２号議案　令和８年度 資金収支予算書（案）について 第３号議案　理事長専決事項の報告について 第４号議案　協力医療機関委託契約の件について 報告事項 第１号報告　令和７年度 決算予想について

（２）監事会の開催状況

開催日	出席（人）	内　　容
令和７年 ５月20日	２人	各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、以上の方法により当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について実施。 さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について実施。

（３）内部経理監査の実施状況

実施日	内　　容
令和７年10月31日	提出された令和７年度仮決算報告書及び関係帳票類の経理監査を実施 ①　資金収支計算書（第１号第１様式・第１号第４様式） ②　事業活動計算書（第２号第１様式・第２号第４様式） ③　貸借対照表（第３号第１様式・第３号第４様式） ④　財産目録（別紙４） ⑤　附属明細表

（４）評議員会の開催状況

実施日	同意（人）	内　　容
令和７年６月17日	６人	報告事項 第１号報告　令和６年度事業報告及び社会福祉充実計画作成の有無について 決議事項 第１号議案　令和６年度計算書類・財産目録の承認について 第２号議案　理事６名及び監事２名の選任について

４．地域貢献事業の推進（社会貢献活動）

社会福祉法人は、民間社会福祉事業の主たる担い手として、その使命と役割を果たしていくことが要請されており、利用者に責任ある介護サービス事業を提供するとともに、法人の基本方針として社会への還元、地域への貢献に努めることとしている。既に実施している公益事業を含め、次により地域貢献に関する事業の取組みを行った。

① 「24 時間 365 日認知症あんしん介護相談窓口」

② 利用者負担軽減額に関する取り組み

③ 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する取り組み

④ 自然災害時の一時避難場所の提供

令和７年度　特別養護老人ホーム　楽洋の里　事業報告

１．基本方針

利用者の暮らしを支える中で、「限りある時間を限りなき光の中で」を合言葉に、利用者一人ひとりはもちろんのこと、地域全体の福祉レベル向上の為に、あらゆる努力を惜しまず、利用者の方々の笑顔を私たちの心の糧とし、サービスの質及び職員一人ひとりの介護技術の向上に努めることができた。

２．目標

○　利用者一人ひとりの尊厳を大切に「利用者本位」のサービス提供を徹底するため、職員の意識改革と資質向上に取り組んだ。

職員は、利用者・家族・関係者に対し、常に誠意をもって丁寧な接遇を心がけ、信頼関係の構築に努めた。

○　報告・連絡・相談の徹底を図っているものの、記録の反映が遅れる、口頭伝達に依存するなど、情報共有にムラが生じることがあった。その結果、支援方針の統一に時間を要するケースがあった。

○　利用者の状態に応じた個別機能訓練を継続的に実施し、身体機能の維持・向上を図った。訓練内容は、歩行訓練、筋力向上訓練、日常生活動作（ADL）訓練など、多様なプログラムを組み合わせて実施した。

○　認知症の方々への理解を深めるため、職員研修やケース検討を行い、対応力の向上に努めた。支援にあたっては、「笑顔で優しく丁寧な関わり」を基本姿勢とし、安心して過ごせる環境づくりに取り組んだ。

３．運営に当たっての重点項目

○　日常支援においては、利用者ごとのカンファレンスを定期的に開催し、課題の整理、ケア方法の統一、サービスの質の向上、事故防止等について全職員で検討する機会を設けた。これにより、支援内容の共有と職員間の連携強化が図られた。

○　褥瘡予防に関する取り組みとして、体位交換技術の向上、除圧、清拭、栄養管理などの総合的支援を計画していたが、職員体制の不足や業務量の増加により、計画どおりの研修実施および情報共有が十分に行えなかった。このため、褥瘡予防に関する技術向上やケア内容の統一が十分に進まず、課題が残る結果となった。次年度は、職員の研修時間の確保、業務分担の見直し、計画的な研修実施体制の整備を行い、褥瘡予防の強化に取り組む。

○　姿勢調整については、臥位および座位時の姿勢を適切に整えることで、関節拘縮の進行予防および誤嚥性肺炎の予防に努めた。

○　医療機関との連携では、主治医と密に情報交換を行い、利用者の状態変化や支援内容に変更が生じた場合には、家族へ随時連絡し、情報共有を図りながら支援を進め、信頼関係の構築に努めた。歯科医師との連携においても、口腔状態の把握と適切な口腔ケアを実施し、利用者が食べる喜びを長く維持できるよう支援した。

○　感染予防対策を徹底しつつ、行事やレクリエーションを計画・実施し、利用者が充実した生活を送れるよう配慮した。また、業務優先ではなく利用者ファーストの姿勢を重視し、訴えがあった際には立ち止まり傾聴する姿勢を職員全体で共有した。

○　看護師の指導のもと、経管栄養や吸引の技術向上にも取り組み、安全で確実な医療的ケアの提供に努めた。さらに、介護福祉士・介護支援専門員等の資格を有する職員には、社会福祉士・精神保健福祉士等の上位資格取得を目標とした研修参加を促し、職員の専門性向上を図った。また、介護従事者の待遇改善の流れを踏まえ、質の高い人材の育成と定着を目指し、職場環境の整備および処遇改善に努め、明るく働きやすい職場づくりを推進した。

４．事業数値目標

１）目標稼働率＝99%（年間延人数 10,840 名以上）実績稼働率＝99.39%（年間延人数 10,884 名）

２）目標平均介護度＝4.5　　実績平均介護度＝4.15

５．環境美化及び設備整備

○　定期的に換気・加湿・適切な空調管理を行い、感染症拡大防止に努めた。

６．防災計画

○　具体的な災害を想定した災害対応訓練を年２回実施した。訓練では、職員が役割分担に基づき行動手順を確認し、利用者にも参加してもらうことで実践的な対応力の向上を図った。
特に避難訓練を重視し、避難場所・経路・方法の妥当性を確認するとともに、自力避難が困難な利用者の避難方法について検討した。

７．職員の福利厚生

○　職員の要望を採り入れ福利厚生を充実させ、職員の勤労意欲の向上を図り、心身の健康を維持するように努めた。

８．職員の研修

○　日頃の業務の中で、利用者を支援するに当たり、疑問に感じる事やわからない事は、先輩や各専門職へ尋ね常に学びの姿勢を持つよう努めた。今後も常に学びの姿勢を持ち、研修会を通じて介護技術向上に努めていく必要がある。

○　利用者及びその家族に満足と安心を与えることのできる適切な介護サービスを提供するために、知識・技術の向上及び利用者、同僚等の他者を理解して行動することのできる豊かな人格形成を目標として各種の研修を行うことができた。

９．各委員会の充実

（１）連絡調整会議

開催日	内　　容
4 月 25 日	各部署との連絡調整、給与改定、事業報告、決算報告、その他
5 月 26 日	各部署との連絡調整、介護職員処遇改善手当の支給、夏期賞与の支給、その他
6 月 24 日	各部署との連絡調整、市町民税の徴収、その他
7 月 24 日	各部署との連絡調整、避難訓練、その他
8 月 25 日	各部署との連絡調整、その他
9 月 25 日	各部署との連絡調整、インフルエンザ予防接種、その他

10 月 27 日	各部署との連絡調整、事務連絡、その他
11 月 25 日	各部署との連絡調整、年末調整、冬期賞与の支給、その他
12 月 25 日	各部署との連絡調整、事務連絡、その他
1 月 26 日	各部署との連絡調整、事業計画、事業報告、その他
2 月 25 日	各部署との連絡調整、各委員会の年間の反省及びメンバー選出、その他
3 月 25 日	各部署との連絡調整、収支報告、その他

（２）全体会議

開催日	内　　容
4 月 28 日	調整会議・部署会議・各委員会より決議事項報告、健康診断、給与改定、その他
5 月 28 日	調整会議・部署会議・各委員会より決議事項報告、介護職員処遇改善加算金、その他
6 月 30 日	調整会議・部署会議・各委員会より決議事項報告、住民税改定、その他
7 月 28 日	調整会議・部署会議・各委員会より決議事項報告、その他
8 月 28 日	調整会議・部署会議・各委員会より決議事項報告、その他
9 月 29 日	調整会議・部署会議・各委員会より決議事項報告、その他
10 月 28 日	調整会議・部署会議・各委員会より決議事項報告、その他
11 月 27 日	調整会議・部署会議・各委員会より決議事項報告、年末調整、その他
12 月 29 日	調整会議・部署会議・各委員会より決議事項報告、その他
1 月 28 日	調整会議・部署会議・各委員会より決議事項報告、その他
2 月 27 日	調整会議・部署会議・各委員会より決議事項報告、各委員会の年間の反省及びメンバー選出、その他
3 月 27 日	調整会議・部署会議・各委員会より決議事項報告、その他

（３）部署会議（特養部門）

開催日	4/8・5/12・6/4・7/2・8/5・9/3・10/8・11/5・12/1・1/9・2/10・3/4
内　容	各委員会より決議事項報告、リハビリ会議・原案会議、入所者処遇、業務内容検討、各行事の計画及び反省、その他

（４）部署会議（栄養部門）

開催日	4/19・5/15・6/13・7/7・8/10・9/8・10/2・11/4・12/9・1/8・2/5・3/11
内　容	業務内容について、行事食等の立案について、事業計画について、その他

（５）身体拘束廃止（虐待防止）検討委員会

開催日	4/8・5/12・6/4・7/2・8/5・9/3・10/8・11/5・12/1・1/9・2/10・3/4
内　容	身体拘束を要する利用者の有無の確認、変化の著しい利用者の報告、勉強会の開催、年間予定、その他

（６）事故対策委員会

開催日	4/25・5/23・6/23・7/21・8/23・9/20・10/25・11/24・12/20・1/25・2/25・3/25
内　容	事故に対する適切な対応の確保や再発防止策の検討、勉強会の開催、年間予定、その他

（７）衛生管理（感染・褥瘡・喀痰・経管）委員会

開催日	4/28・5/28・6/30・7/28・8/29・9/29・10/28・11/27・12/29・1/28・2/27・3/27
内　容	施設内外感染や褥瘡に対する予防や改善の検討、勉強会の開催、年間予定、その他

（８）看取り介護（重度化対応対策）委員会

開催日	4/8・5/12・6/4・7/2・8/5・9/3・10/8・11/5・12/1・1/9・2/10・3/4
内　容	看取り介護を要する利用者の有無の確認、重度化を要する利用者の有無の確認及び主治医との調整、変化の著しい利用者の報告、その他

（９）入所判定委員会

開催日	4/25・5/26・6/24・7/24・8/25・9/25・10/27・11/25・12/25・1/23・2/26・3/25
内　容	施設に入所する必要性の高いと認められる利用者の入所順位の決定調整、その他

(10) 安全対策委員会

開催日	4/29・5/28・6/27・7/29・8/28・9/30・10/28・11/28・12/26・1/28・2/27・3/27
内　容	避難訓練の計画及び実施、施設内外の安全対策の調整、勉強会の開催、その他

(11) 施設内研修委員会

開催日	講　師	内　　容
4 月 28 日	濵口　智子	食中毒の発生と感染予防法について
5 月 28 日	岡本　ルミ	身体拘束について
6 月 30 日	平井　博英	業務継続計画、非常用発電機についての研修
7 月 28 日	中西　叶子	事故の発生予防又は、その再発防止に関する研修
8 月 28 日	徳本百合美	感染症の発生予防及びまん延防止に関する研修
9 月 29 日	松尾　佑也	避難訓練及び消火訓練について
10 月 28 日	渡邉三枝子	認知症及び認知症ケアに関する研修
11 月 27 日	徳本百合美	褥瘡及び喀痰吸引等に関する研修
12 月 29 日	田中　　誠	倫理及び法令遵守と各種ハラスメントについて
1 月 28 日	田中　　誠	介護現場のアンガーマネジメントについて
2 月 26 日	平井　博英	日中想定避難訓練とＢＣＰについて
3 月 26 日	渡邉三枝子	看取り介護に関する研修、ハラスメント予防と対策について

(12) 給食委員会

開催日	4/28・5/28・6/30・7/29・8/28・9/30・10/28・11/28・12/26・1/28・2/27・3/28
内　容	行事食の提案、献立の検討、調理実習の計画、その他

(12) レクレーション委員会

開催日	4/10・5/13・6/3・7/5・8/2・9/4・10/11・11/9・12/6・1/10・2/7・3/4
内　容	行事計画、よりみち新聞の作成・編集、その他

(13) 業務継続（ＢＣＰ）委員会

開催日	6/30・9/30・2/26・3/30
内　容	ＢＣＰの概念や必要性、感染症に関する情報の説明及び共有 訓練（シュミレーション）の実施及び検証・見直し、理事会への報告

(14) 新人研修

開催日	5/30・6/19・6/23・7/25・8/30・9/25
内　容	オリエンテーション、看護・介護について、緊急時の対応、接遇、オムツ交換、体位交換、更衣介助、経管栄養の実施及び口腔内吸引、認知症、食事形態及び介助方法、介護現場における事故防止対策、倫理及び法令遵守、感染予防について

10. 施設外（オンライン）研修の参加状況

開催日	参加者	内　　容
5月23日	平井　博英	社会福祉法人指導監査研修会（オンライン）
7月14日	平井新一郎	社会福祉法人役員向け会計研修会
8月21日	平井　博英	天草地区特別養護老人ホーム連絡協議会
12月　2日	渡邉三枝子	熊本県老人福祉施設協議会総会
12月12日	田中　　誠	排泄ケア研修
2月　5日	岡部　新治	喀痰吸引研修
2月　3日	平井　博英	社会福祉法人会計実務（中・上級者向け）研修会
2月25日	岡野　渉一	天草地区特別養護老人ホーム連絡協議会 研修会
3月　7日	田中　　誠	熊本県介護保険施設連絡協議会セミナー

11. 施設入所者の利用者状況

区分／月	初日在籍利用者数	利用延べ日数	入院・外泊空所日数	新規利用者				退所者		
				在宅から	他施設から	病院から	措置入所	医療機関入院	他施設へ転出	死亡
4月	29人	885日	15日	0人	1人	0人	0人	0人	0人	1人
5月	30人	926日	4日	0人	0人	2人	0人	0人	0人	2人
6月	30人	900日	0日	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
7月	30人	925日	5日	3人	0人	1人	0人	0人	0人	4人
8月	30人	916日	14日	1人	0人	0人	0人	1人	0人	1人
9月	30人	900日	0日	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人
10月	30人	930日	0日	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人
11月	30人	899日	1日	1人	0人	1人	0人	0人	0人	2人
12月	29人	929日	1日	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
1月	30人	930日	0日	0人	1人	0人	0人	0人	0人	1人
2月	30人	834日	6日	0人	1人	0人	0人	0人	0人	2人
3月	29人	924日	6日	1人	1人	1人	0人	0人	0人	3人
計	357人	10,884日	42日	8人	4人	6人	0人	1人	1人	17人

入所定員30人×365日＝10,950日（年間利用延べ日数）10,884日÷10,950日＝99.39%

（令和6年度稼働率＝99.61%）（令和5年度稼働率＝99.83%）（令和4年度稼働率＝99.61%）（令和3年度稼働率＝99.83%）

入所者17名（男性＝ 4名、女性=13名）（町内=16名、町外＝ 1名）退所18名（男性＝ 3名、女性=15名）（町内=16名、町外＝ 2名）

12. 年齢別・性別の状況　　令和 8 年 3 月 31 日現在

	65～75	76～79	80～85	86～89	90～95	96～100	101～	計	平均年齢
男性	1 人	1 人	3 人	0 人	3 人	0 人	0 人	8 人	84.0 歳
女性	1 人	1 人	3 人	3 人	10 人	3 人	0 人	21 人	89.1 歳
計	2 人	2 人	6 人	3 人	13 人	3 人	0 人	29 人	87.7 歳

男性の最高年齢：94 歳、最低年齢：68 歳　女性の最高年齢：97 歳、最低年齢：74 歳

（令和６年度平均年齢＝男性 85.8 歳、女性 89.6 歳）（令和５年度平均年齢＝男性 86.2 歳、女性 91.5 歳）

（令和４年度平均年齢＝男性 86.0 歳、女性 90.5 歳）（令和３年度平均年齢＝男性 85.5 歳、女性 91.2 歳）

13. 在所期間の状況　　令和 8 年 3 月 31 日現在

	1 年未満	1 年以上	3 年以上	5 年以上	10 年以上	計	平均在所期間
男性	7 人	1 人	0 人	0 人	0 人	8 人	0 年 08 ヶ月
女性	9 人	9 人	1 人	2 人	0 人	21 人	1 年 10 ヶ月
計	16 人	10 人	1 人	2 人	0 人	29 人	1 年 07 ヶ月

（令和６年度平均在所期間＝男性 2.06 年、女性 2.04 年）（令和５年度平均在所期間＝男性 2.03 年、女性 2.08 年）

（令和４年度平均在所期間＝男性 2.03 年、女性 3.07 年）（令和３年度平均在所期間＝男性 1.04 年、女性 2.11 年）

14. 要介護度の状況　　令和 8 年 3 月 31 日現在

	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	年間平均介護度
元年	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	1 人 (1 人)	15 人 (2 人)	14 人 (5 人)	4.41
2 年	0 人 (0 人)	1 人 (1 人)	0 人 (0 人)	2 人 (1 人)	14 人 (3 人)	14 人 (0 人)	4.29
3 年	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	5 人 (4 人)	13 人 (6 人)	12 人 (2 人)	4.23
4 年	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	4 人 (3 人)	13 人 (3 人)	13 人 (3 人)	4.30
5 年	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	2 人 (2 人)	15 人 (4 人)	13 人 (2 人)	4.36
6 年	0 人 (0 人)	1 人 (1 人)	2 人 (2 人)	6 人 (6 人)	11 人 (5 人)	9 人 (2 人)	3.86
7 年	0 人 (0 人)	2 人 (2 人)	2 人 (2 人)	4 人 (5 人)	12 人 (6 人)	8 人 (3 人)	3.65

（　）は、年度に新たに入所した者の数

15. 待機者の状況

◎　待 機 者＝（町内 13 名、町外 2 名、県外 0 名）15 名

令和７年度　ショートステイ楽洋　事業報告

１．基本方針

少子高齢化に伴い、単身世帯や夫婦のみの世帯の増加、家族形態の変化や地域等の繋がりの希薄化など様々な課題が生じている。その中で、利用者が地域や自宅でそれまでの日常生活を続けることができるよう、安心・安全な場所を提供すると共に、心身機能の維持回復や孤立感を解消できるような支援の取組を行う。また、利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減が図れるサービスの提供を展開していくことに努めた。

２．目標

○　利用者の意思を尊重し、利用者主体の援助を行うとともに、可能な生活活動を活用することで心身機能の維持を図り、在宅生活の継続を支援した。

○　利用者および職員双方の安全を確保するため、感染症対策を継続的に実施し、感染防止に努めた。

○　利用者の家庭での生活状況や居宅サービス利用時の ADL 等の情報を収集し、職員間で共有することで、機能維持および生活の質の向上に努めた。

○　地域のニーズを踏まえ、新規利用者の受け入れに努めた。

３．運営に当たっての重点項目

○　「利用者が在宅生活を継続できるよう、家族の介護負担を軽減し、スムーズなサービス利用が可能となる受入体制を整えた。

○　長期利用においても身体機能等が低下しないよう、利用者の状況に応じた適切なサービス提供に努めた。

○　個別介護計画書を作成し、事前の意向聴取やサービス担当者会議を通じて利用者・家族の同意を得た上でサービスを提供した。 また、居宅介護支援事業者・医療機関・関係機関と密に連携し、利用者にとって最適な支援となるよう取り組んだ。

○　サービス利用中に病状の急変や事故が発生した場合には、速やかに家族および居宅介護支援事業者へ報告し、適切な措置を講じた。必要に応じて協力医療機関とも連携した。

○　同一事業所内で複数サービスを利用している利用者については、事業所間で情報共有を行い、統一した支援が提供できるよう努めた。

４．事業数値目標

１）目標稼働率＝95.0%（年間延日数 346 日以上）
　　実績稼働率＝85.4%（年間延日数 312 日）

２）目標平均介護度＝2.0
　　実績平均介護度＝2.5

５.短期入所者の利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
自立支援	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要支援１	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要支援２	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.1
	日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0.3
要介護１	人数	2	0	1	1	0	3	0	0	1	0	1	1	10	0.8
	日数	6	0	3	5	0	11	0	0	5	0	2	7	39	3.3
要介護２	人数	2	3	2	1	1	1	3	1	2	2	1	3	22	1.8
	日数	4	10	6	3	10	2	10	6	9	8	16	9	93	7.8
要介護３	人数	1	1	1	1	0	1	1	2	2	2	1	2	15	1.3
	日数	16	8	6	8	0	3	6	15	10	5	3	6	86	7.2
要介護４	人数	1	1	3	1	2	2	1	1	1	1	0	0	14	1.2
	日数	3	3	15	4	15	12	7	4	3	3	0	0	69	5.8
要介護５	人数	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.3
	日数	0	11	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	21	1.8
登　録　数		6	6	8	5	3	7	5	4	6	6	3	6	65	5.4
延　日　数		29	32	38	22	25	28	23	25	27	20	21	22	312	26.0
営業日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
稼　働　率		96.7%	103.2%	126.7%	71.0%	80.6%	93.3%	74.2%	83.3%	87.1%	64.5%	75.0%	71.0%	85.4%	
６年度	延人数	3	3	5	7	5	7	8	7	9	7	5	8	74	6.2
	延日数	14	12	27	36	28	32	34	28	41	29	30	34	345	28.8
５年度	延人数	11	9	11	9	7	8	11	8	8	7	1	5	95	7.9
	延日数	41	56	45	36	32	29	42	36	33	24	2	19	395	32.9
４年度	延人数	5	3	8	9	11	10	9	10	8	8	7	8	96	8.0
	延日数	27	33	35	30	51	50	39	44	42	52	30	34	467	38.9
３年度	延人数	6	5	9	10	6	7	6	7	5	6	6	7	80	6.7
	延日数	16	15	24	40	33	36	33	51	25	33	30	36	372	31.1
２年度	延人数	6	8	6	8	6	9	4	6	7	8	6	6	80	6.6
	延日数	28	54	39	45	35	31	12	22	32	41	40	27	406	33.8
元年度	延人数	6	6	9	9	8	7	7	6	9	7	7	8	92	7.6
	延日数	35	48	34	46	48	48	48	37	47	36	38	37	502	41.8

令和６年度稼働率＝94.5%（利用延日数＝345 日）令和５年度稼働率＝107.9%（利用延日数＝366 日）
令和４年度稼働率＝127.9%（利用延日数＝467 日）令和３年度稼働率＝101.9%（利用延日数＝372 日）

令和７年度　楽洋デイサービスセンター　事業報告

１．基本方針

要介護者、要支援者、事業対象者の個性を踏まえて、利用者それぞれの自立支援に向けて、残存機能を活かしながら、生きがいを感じることができるよう、入浴・排せつ・食事の介助、その他の日常生活上にわたる支援及び日常生活動作訓練を行うことを目的とする。また、地域の関係機関との連携を図りながら、総合的なサービスの提供を行うことができた。

２．目標

○　全職員が利用者の ADL やニーズを正確に把握し、職員間での情報共有を徹底することで、サービスの質の向上を図った。これにより、利用者に対して一貫性のある支援を提供するとともに、業務の円滑な遂行に努めた。

○　１日平均利用者数 15 名以上を目標としていたが、地域の利用者減少や急な入院・入所者の発生により、目標達成には至らなかった。特に、季節変動や体調不良による入院・入所が多く、安定した利用者数の確保が困難であった。今後も、居宅介護支援事業所との連携強化、見学・体験利用の促進、広報活動の見直しを行い、利用者数の安定化を図る。

○　地域住民への声掛けや他事業所との連携を通じて新規利用者の獲得を目指したが、地域の高齢化による介護度の重度化や、既存サービスの利用継続が多かったことから、新規利用者の確保が十分に進まなかった。また、急な利用希望への対応についても、送迎体制や職員配置の都合により調整が難しい場面があった。今後も、地域行事への参加、広報活動の強化、柔軟な利用調整体制の構築を進める。

○　各利用者の病気・疾患を把握し、身体機能および認知機能の状態に応じた作業活動や機能訓練を実施した。これにより、身体機能の維持および認知機能の低下防止に努めた。

３．運営に当たっての重点項目

○　手洗い・うがい・正しいマスク着用など、基本的な感染対策を継続して実施した。また、利用者家族とも積極的に情報共有を行い、感染症拡大防止に向けた協力体制を構築した。これにより、年間を通して大きな感染拡大を防ぐことができた。

○　利用者の心身状態を日々観察し、変化の早期発見に努めた。看護職・介護職・機能訓練指導員・ケアマネージャー等との連携を強化し、個々の状態に応じたケアを提供することで、より安心・安全な生活環境の維持に寄与した。

○　業務の優先順位を適切に判断し、職員間での連携を密にすることで、事故防止に努めた。目配り・気配りを意識した行動を徹底し、重大事故の発生を防ぐことができた。

○　利用者および家族からの相談に丁寧に対応し、必要に応じて担当ケアマネージャーと連絡調整を行った。これにより、利用者の在宅生活の継続支援と家族の介護負担軽減に貢献した。

○　各利用者の目標に基づく個別機能訓練計画を職員全体で共有し、統一した方法で実施した。身体機能・認知機能の維持および向上が見られ、安全な在宅生活の継続に寄与した。

○　利用者が楽しみにしているレクリエーションについて、内容の見直しを行い、より楽しめる時間となるよう工夫した。また、個々の能力や興味に合わせた手作業活動も取り入れ、参加意欲の向上につながった。

○　専門的視点からリハビリメニューを検討し、繰り返し行うことで体力維持を図った。さらに、

定期的に新しいメニューを取り入れることで、利用者の意欲向上と機能維持に効果が見られた。

○　定められた業務マニュアルの周知徹底を図るとともに、現場の状況に応じて随時見直しを行った。改善点を反映させることで、より効率的で安全な業務運営につながった。

４．事業数値目標

１）目標稼働率＝75.0%（年間延人数 5,460 名以上）
　　実績稼働率＝54.5%（年間延人数 3,966 人、1 日平均 11.6 人）

２）目標平均介護度＝2.3　　実績平均介護度＝2.2

５．部署会議の状況

開催日	4/7・5/19・6/2・7/7・8/18・9/16・10/20・11/10・12/8・1/13・2/11・3/19
内　容	各委員会より決議事項報告、リハビリ会議、ケアカンファレンス、業務内容検討、各行事の計画及び反省、その他

６．年間行事

月	主　な　年　間　行　事	月	主　な　年　間　行　事
4 月	花見、よもぎ饅頭作り	10 月	作品作り
5 月	ミニ運動会、母の日、節句	11 月	干し柿作り
6 月	七夕飾り作り、父の日	12 月	ミニクリスマス会、冬至、忘年会、餅つき
7 月	七夕	1 月	新年会、新春福笑い
8 月	お盆、団子作り	2 月	節分、バレンタインデーのチョコ作り
9 月	敬老会、彼岸饅頭作り	3 月	雛祭り、ホワイトデーのクッキー作り

※　誕生会、ミニ誕生会は毎月実施（利用者主体、参加型）

※　交流会は、毎月実施（地元保育園児や地元ボランティア団体）

７．戸外活動・クラブ活動・少人数レクレーション

月	主な戸外活動予定	月	主な戸外活動予定
4 月	花見、よもぎつみ	9 月	かき氷作り
5 月	散歩、つつじ見学	10 月	散歩
6 月	屋外でのレクレーション	1 月	ケーキ作り・手入れ
7 月	かき氷作り	2 月	花植え
8 月	かき氷作り	3 月	花の手入れ

※　個別グループ活動の充実

※　料理教室・おやつ作り（毎月）

※　童謡会（地元ボランティアによる）毎週金曜日

※　少人数レクレーション（毎日実施）　カルタ、トランプ、囲碁、パズル、頭の体操

８．利用回数の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
事業対象者	7年度	35	45	45	43	23	18	25	34	36	28	31	26	389	32.4
	6年度	35	45	44	32	26	25	26	27	31	34	32	29	386	32.2
	5年度	59	52	42	42	37	52	53	43	31	27	17	27	482	40.1
	4年度	60	8	54	55	46	65	65	53	52	48	61	62	629	52.4
要介護1	7年度	58	70	70	65	88	107	98	95	81	91	84	97	1,004	83.7
	6年度	134	128	130	152	145	130	137	105	83	65	46	63	1,318	109.8
	5年度	149	165	135	149	114	129	149	133	150	131	82	142	1,628	135.7
	4年度	180	18	163	174	153	153	140	173	151	117	148	162	1,732	144.3
要介護2	7年度	144	112	118	118	104	98	92	86	91	90	93	89	1,235	102.9
	6年度	127	141	124	118	114	126	128	131	141	126	141	132	1,549	129.1
	5年度	113	103	116	122	140	157	130	127	111	89	68	106	1,382	115.2
	4年度	56	7	41	49	61	91	84	88	104	88	88	112	869	72.4
要介護3	7年度	16	25	23	18	8	23	36	27	32	29	30	32	299	24.9
	6年度	54	53	41	3	8	8	9	34	34	34	19	19	316	26.3
	5年度	115	92	89	126	84	90	76	97	110	82	47	53	1,061	88.4
	4年度	148	19	129	128	126	137	142	138	136	117	112	94	1,426	118.8
要介護4	7年度	103	130	141	149	78	63	56	73	83	66	34	22	998	83.2
	6年度	91	107	97	98	86	88	95	95	95	91	90	97	1,130	94.2
	5年度	76	90	106	73	87	89	93	93	89	105	62	96	1,059	88.3
	4年度	77	5	43	46	36	41	47	48	35	47	58	80	563	46.9
要介護5	7年度	0	14	17	10	0	0	0	0	0	0	0	0	41	3.4
	6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	4年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
延 人 数	7年度	321	351	369	360	278	291	282	281	287	276	241	240	3,337	278.1
	6年度	441	474	436	403	379	377	395	392	384	350	328	340	4,699	391.6
	5年度	512	502	488	512	462	517	501	493	491	434	276	424	5,612	467.6
	4年度	521	57	430	452	422	487	478	500	478	417	467	510	5,219	434.9
開所日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	28	31	364	
平均利用者	7年度	11.9	12.8	13.8	13.0	9.7	10.3	9.9	12.6	12.0	11.7	11.3	10.2	139.2	11.6
	6年度	14.6	15.1	14.2	12.9	12.2	12.5	12.5	12.8	12.2	11.2	11.1	10.7	152.1	12.7
	5年度	17.0	16.1	16.2	16.5	14.9	17.2	16.1	16.4	15.8	14.4	12.5	13.6	186.7	15.6
	4年度	17.2	14.0	14.2	14.5	13.5	16.7	15.3	16.6	15.3	13.8	16.3	16.0	183.4	15.3
	3年度	16.7	15.5	15.8	17.0	15.0	17.0	16.4	15.0	16.6	14.0	14.6	16.0	189.7	15.8
	2年度	18.8	19.0	17.8	17.7	16.9	16.5	18.0	17.6	18.5	15.8	17.2	17.0	210.8	17.5
	元年度	14.5	13.5	13.2	14.4	14.3	14.8	16.5	17.0	16.5	16.3	17.6	17.9	186.3	15.5

令和７年度　ケアプランサービス楽洋３６５　事業報告

１．基本方針

介護保険の基本理念である「高齢者の自己決定権の尊厳」「自分らしい生活の継続」及び「自立支援」を基本とし、要介護状態又は要支援状態にある高齢者に対し、適正な居宅介護支援を提供する。また、介護保険法令及びその他の法令に対しても、法令遵守が確実に行われていることを常に確認しながら、在宅での生活が継続できるよう支援していくことができた。

２．目標

○　月 25 件以上の担当を目指したが、目標には達しなかった。要因として、地域内での新規利用者数の減少や関係機関との情報共有のタイミングが十分でなかったことが挙げられる。今後は、医療機関・地域包括支援センターとの連携強化に向けて訪問頻度を増やし、紹介につながる関係構築をより計画的に進めていく。

○　主治医や病院連携室との情報共有を積極的に行い、利用者の状態把握と必要な支援内容の調整に努めた。これにより、利用者が円滑かつ早期に在宅生活へ移行できるよう支援体制を整えた。

○　研修会へ積極的に参加し、自己研鑽に努めた。得られた新しい知識や情報を業務へ還元し、より適切で効果的な支援が提供できるよう取り組んだ。

○　要介護者等の尊厳を保持しつつ、利用者の心身の状況に応じた適切なサービス利用が行えるよう支援した。

３．運営に当たっての重点項目

○　利用者の個人因子および環境因子を丁寧に把握し、適切なサービス提供と調整に努めた。利用者が望む生活を実現し、継続できるよう、生活状況や意向を踏まえた支援を行った。

○　医療機関、地域包括支援センター、介護サービス事業者等との関係構築を継続し、業務を円滑に進めるための連携強化に取り組んだ。また、新規利用者獲得につながる情報収集も継続的に実施し、地域の支援体制の把握に努めた。

○　利用者および介護者の思いを丁寧に把握し、適切な助言やインフォーマルサービスの活用が実行できるよう支援した。

○　各家庭の状況について継続的に情報収集を行い、関係事業所と必要な情報を共有した。これにより、随時適切なサービスの見直しや助言が行える体制を整え、利用者にとって最適な支援につなげた。

４．事業数値目標（1 ヶ月当たりの利用定員 35 名）予防・総合事業の利用 1 名＝0.5 人

１）目標稼働率＝71.0%（年間延件数 300 件以上）（予防・総合事業委託を含む）
　　実績稼働率＝58.8%（年間延件数 247 件）（予防・総合事業委託を含む）

５．部署会議の状況

開催日	4/25・5/26・6/24・7/24・8/25・9/25・10/27・11/25・12/25・1/26・2/25・3/25
内　容	決議事項報告、ケアカンファレンス、業務内容検討、計画及び反省、その他

６．利用者数の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
事業対象者	7年度	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	6	0.5
	6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要支援1	7年度	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.3
	6年度	0	2	2	0	0	0	1	1	1	2	2	1	12	1.0
	5年度	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0.3
要支援2	7年度	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	35	2.9
	6年度	5	5	6	5	5	5	4	4	5	3	3	3	53	4.4
	5年度	7	6	6	5	6	6	6	7	5	5	5	5	69	5.8
実績件数	7年度	4	4	4	4	2	3	4	4	4	4	4	4	45	3.8
	6年度	5	7	8	5	5	5	5	5	6	5	5	4	65	5.4
	5年度	7	6	7	6	6	7	6	7	5	5	5	5	72	6.0
要介護1	7年度	6	5	5	5	7	8	7	5	5	5	6	6	70	5.8
	6年度	7	7	7	7	8	8	7	6	7	4	5	5	78	6.5
	5年度	12	11	12	11	9	8	9	9	10	9	7	8	115	9.6
要介護2	7年度	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	83	6.9
	6年度	9	8	7	7	5	6	7	6	6	7	8	8	84	7.0
	5年度	8	7	7	7	10	11	10	8	6	6	7	8	95	7.9
要介護3	7年度	3	3	3	3	1	2	3	3	3	3	3	3	33	2.8
	6年度	5	5	5	4	2	1	1	3	3	4	3	4	40	3.3
	5年度	6	5	6	7	7	7	7	7	8	7	7	5	79	6.6
要介護4	7年度	4	4	5	5	4	3	3	3	2	2	1	0	36	3.0
	6年度	4	4	3	5	4	5	4	4	3	3	3	3	45	3.8
	5年度	3	5	5	3	2	2	2	2	3	4	4	5	40	3.3
要介護5	7年度	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.3
	6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3	0.3
実績件数	7年度	20	20	21	21	19	20	20	18	17	17	17	15	225	18.8
	6年度	25	24	22	23	19	20	19	19	19	18	19	20	247	20.6
	5年度	29	28	30	28	28	28	28	26	28	27	26	26	332	27.7
総件数	7年度	22.0	22.0	23.0	23.0	20.0	21.5	22.0	20.0	19.0	19.0	19.0	17.0	247	20.6
	6年度	27.5	27.5	26.0	25.5	21.5	22.5	21.5	21.5	22.0	20.5	21.5	22.0	279	23.2
	5年度	32.5	31.0	33.5	31.0	31.0	31.5	31.0	29.5	30.5	29.5	28.5	28.5	368	30.6
	4年度	33.0	29.5	33.0	30.5	31.5	34.5	31.5	32.0	34.0	32.0	30.0	34.5	386	32.1
	3年度	30.5	29.0	28.5	28.5	30.0	32.0	32.0	31.0	32.0	31.0	31.5	34.5	370	30.8